

第5期（平成28～29年度）第8回日進市自治推進委員会 議事録

日 時 平成30年3月28日（水） 午前10時から午前11時30分まで

場 所 日進市役所本庁舎4階第1会議室

出 席 者 昇秀樹（会長）、伊藤三郎（副会長）、塩崎紀幸、林かぐみ、高平和彦、鈴木知代子、若松正樹、財部剛

欠 席 者 杉山知子

事 務 局 金山敏和（企画部長）、水野隆史（企画政策課長）、野村圭一（企画政策課市政戦略係長）、松井啓子（企画政策課市政戦略係主査）

説明の為に なし

出席した者

傍聴の可否 可

傍聴の有無 あり（2名）

次 第 1 開会  
2 あいさつ  
3 議題  
（1）答申への対応について  
（2）日進市自治基本条例施行10周年記念事業について  
4 その他  
5 閉会

配 付 資 料 資料1-1 答申への対応一覧表  
資料1-2 議会基本条例見直し（案）パブリックコメント閲覧用資料  
資料2 自治基本条例施行10周年記念事業について  
参考資料 4コママンガでわかる日進市自治基本条例  
当日資料 子ども条例のあるまち日進

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題
会 長	それでは、議題（1）答申への対応について、事務局から説明をお願いします。
企 画 政 策 課	（資料1-1、1-2に沿って説明）
会 長	いまの説明に関して質疑・意見等がありますか。
委 員	コミュニティ支援について、行政から金銭的な支援をするということかと思いますが、この支援に幅はあるのでしょうか。
企 画 政 策 課	連携に対して直接補助金を出すのではなく、補助金の審査の際に有利になるような仕組みです。単独の事業よりも他の団体と協働でやる事業の方が採択される可能性は高くなります。採択後も、単独でやるより効果が高まるということがあれば、市民協働課が協働の相手を紹介しています。
委 員	得になるということですね。

発 言 者	内 容
企 画 政 策 課	はい、このようなインセンティブを設けることで、団体間の連携を促しています。
委 員	しっかり支援していただくと団体も活動がしやすいと思いますので、よろしくお願いします。
企 画 政 策 課	団体によっても得意不得意がありますので、団体同士が補完しあって活動できるといいと考えています。
会 長	<p>他はいかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>他にないようですので、私から。「コミュニティ活動」等の整理については、文言の整理なので条例改正があるときに、併せてやっていただきたいと思います。条例16条の市民自治活動で「住民自治組織によるコミュニティ活動」「NPO等によるコミュニティ活動」「ボランティア活動」が並列になっています。住民自治組織とNPOは「組織」のことですが、ボランティアは自発的な個人の「活動」です。ですから、町内会にもボランティアはありえますし、NPOにもボランティアはありえます。使用している言葉の次元が違うのです。言葉の概念の整理のためだけに条例改正する必要はないと思いますが、改正するときは主従の従の内容として、言葉の概念を整理して書きぶりを変えていただくといいですね。そういう意味では「ボランティア活動」はどちらにも含まれますので、記載は要らないかもしれません。学問的な話かもしれませんが、次回改正時に収まりよく文言を整えていただけるといいと思います。</p>
企 画 政 策 課	条文は5年以内に見直しとなっていますので、見直しの結果改正となりましたら、併せて字句整理もしたいと思います。
会 長	<p>他はいかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、(2)日進市自治基本条例施行10周年記念事業について、事務局から説明をお願いします。</p>
企 画 政 策 課	(資料2に沿って説明)
会 長	<p>10周年記念事業には私のゼミの学生も参加させてもらいました。市役所のイメージが変わったといいますか、「もっと固いと思っていたが、意外と柔らかい考え方でやるんだと気がついた」と言っておりましたので、良かったと思います。</p> <p>質問やご意見はございますか。</p>
委 員	<p>10周年記念のアンケート結果を見て唖然としました。自治基本条例を知らなかったという人が約73%ということで、これについてはもっと広報が必要です。これまでに参加したことがある活動や取組は何ですかという設問では、一番多いのは地域のお祭りや運動会です。これらはおそらく自治会の活動だと思います。その次に多いのが防災訓練です。私どもの地域でも防災フェスタが終わったばかりです。また、花壇を作って水遣りもしています。こういう自治活動という小さなことから関心を持ってもらって、やがて人と人とのつながりで、子供同士</p>

発 言 者	内 容
	<p>やP T Aの縁など、仲間を連れて参加していくといいのではと思いました。大きな催し以外は出てくる人が毎回同じという傾向があります。お友達も誘ってねと声はかけますが、それでもメンバーが固定化しています。やはり自治会活動から大きな輪を広げていかないといけないなと思いました。</p> <p>自治基本条例というものは私自身も委員になるまで知りませんでした、こういうものがあると理解できました。</p>
企 画 政 策 課	<p>自治基本条例については、市民意識調査による認知度が5. 5%ということでこちらも危機感を持っておりましたので、今年度は10周年記念事業という形で広報に力を入れました。アンケートを取ってみると、条例は知らないけれど実際は何かしら自治活動をしているという方が多くいらっしゃいました。また、4コママンガのエピソードのように、これなら自分でもできそうだと思っていただけた方も多くいらっしゃったようです。しかし、そういう活動を応援するため、守るために自治基本条例や市民参加条例があるというところと結びついていないようです。今回4コママンガという形で、「自治基本条例の理念が実は身近なところで自分達に関係している」という具体例を示すことができましたので、そういうものも絡めて引き続き来年度も周知していきたいと思います。</p>
委 員	<p>市長はいろいろなところで話をされると思います。みなさんを安心させるために市政がうまくいっている話はよくされていますが、一方、いま何がうまくいっていないか、どういう方向なのか、そのような時勢の厳しさを伝えることを、あらゆる機会を使ってやっていただきたいと思います。その中で、自治がどれほど大切かということ市長から伝えていただきたいのです。広報紙は見ない人も多いですし、ホームページもどこまで普及しているかわかりませんので、あらゆる機会を使ってほしいです。いまはうまくいっている面が多く、その裏にはこんな苦労がある、この先苦労がある、という話をされるのが一つの方法ではないでしょうか。市長はみなさんに任せる立場ではなく、地方自治のトップである、という意識をぜひ持っていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>たとえば高齢化等の課題を、市民も市役所も参加して対応策を探るというのが自治基本条例の精神ですね。問題が起きたときに、市役所が一方向的に進めるのではなく、市民参加を使って個々の問題を説明していくことは、自治基本条例の認知度アップにつながる気がします。</p> <p>もう一つは教育委員会との調整が必要ですが、小中学校では必ず憲法を学ぶ授業があります。その際に、日本国全体については憲法がありますよ、日進市については自治基本条例がありますよ、とセットで教えていただけるといいですね。総合学習等の時間を使って小中学生が議論する経験があると、彼らが5年後、10年後に大人の市民になったときには、当然条例の認知度も上がります。ぜひ教育委員会に相談していただきたいと思います。日進市にもそういうものがあるんだと、頭の片隅においてもらえる環境をつくることで、中長期的には大きな違いが出てくると思います。</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>例として、くるりんばす再編の話になります。実施前に条例に基づいて、パブリックコメントやワークショップ、説明会などいろいろな形で市民参加が行われました。そして具体案が出て、いざ実施となったときに地元で話をしたら猛烈な批判がありました。「知らない」と言うのです。せっかく市民参加の仕組みに基づいて進めても、実施の段階になると地域まで降りていないのです。私は会議も出て関わっていますので、それもあって私が説明したのですが叱られてしまいました。パブリックコメントも私は書きましたが、出した人は非常に少ないです。市から市民へ広く浸透するような工夫が足りないのではないのでしょうか。一つ言うと、区から自治会ルートへ話が降りてきません。しかも、予算の枠の制約の中で、現状の仕組みを変えることの難しさがあります。良かれといろいろ検討した経過は知っていますが、既存のものを変えることは恩恵を失う人も出るということです。ですから、実際に関係ある市民がわかるようなやり方があればと思います。</p> <p>地域包括ケアシステムの問題もいよいよ来年度から本格的に始まる段階ですが、まだ地域に降りていません。区からの立場で地域への説明会等をお願いしていますが、人の集まりは悪いですし、それどころか住民が問題を理解していません。「市がぶつけてくる」という、頭から反発する意識が強いです。行政に文句を言う場になってしまい、自治とはほど遠い現状があります。声を届ける道は二つあります。一つは議員を通じて議会へ上げる方法です。もう一つは、自治基本条例に基づいて直接声をあげることです。このあたりについて、ぜひ具体的な方法をご検討いただければと思います。引き続き課題として会議で議論していただきたいと思います。</p> <p>市民参加は地域によって差があると思いますね。くるりんばすの例でいいますと、小学校の学区単位で取り組まれたわけですね。2回か3回参加しましたが、私の地元から参加した人は自分くらいでした。現実ではくるりんばすに乗る方は多くはないですが、そういう方も含めて「批判だけはする」という感じになっています。差し引きではよくなったと思いますが、改悪になった部分が課題ではあります。それでも他の地域からはパブリックコメントがたくさん出ました。やはりその地域が意識を持って取り組んでいることが大きいのでしょうか。いろいろな意見を吸い上げて、それをどの程度反映したかは知りませんが、そのように動ける地域はいいと思います。他の地域は非常に少なかったのではないのでしょうか。</p>
会 長	<p>市民参加、住民参加の議論がどこから始まっているかといいますと、例えば自分の家の裏にごみ焼却場や原子力発電所などの迷惑施設をつくってほしくない場合、自分の生活が脅かされる可能性がありますから、積極的に市民参加しますよね。一方、例えば自治基本条例を策定するので市民参加してくださいと言っても、参加しないことで自分の生活が脅かされることはないわけです。つまり、利害の度合いによって、参加するしないの段階が違ってきます。テーマによって違いがあるので、それに応じて市民参加も段階をつけることはやむをえないかもしれません。このテーマは市民参加の機会さえ準備すれば結果的に参加者がいなくても仕方がない、というものから、これは当事者に話を聞いてもらって理解して</p>

発 言 者	内 容
	<p>もらわなければ進められない、というもので濃淡が出ます。以前は市民参加は全部必要だということでしたが、実際やっていく中で、その濃淡を分類して使い分ける必要が出てきたかもしれませんね。</p>
委 員	<p>地域包括ケアシステムも、いま中間のところまでいってなかなか降りてきません。ぜひ区やその先の自治会まで降ろしていただきたいです。区長が動けば自治会も動きます。自治会レベルで引き受けられるとなれば降りてくると思います。区長会がありますし、そのルートも重要だと思います。</p>
会 長	<p>市民の側からすると、市民参加にはコストがかかります。時間などですね。そこに行かなければ自分の好きなことをして過ごせたわけです。しかし隣にごみ焼却場ができるとなれば、そういうコストは度外視されますね。反対だと言う意見も出てきます。市民参加の類型化が多少必要ではという気がしますね。</p> <p>本日は任期の最後の会議ですので、会議への意見や、委員を務めた感想でもけっこうです。退任の方はそのあいさつも兼ねていただいてけっこうですので、一言ずついただけますか。</p>
委 員	<p>今年が自治基本条例が10周年ということで、私自身は条例策定のワークショップには参加していませんが、当時市の職員や市民がたくさん関わり、そういう方達にお話を聞くという機会をこれまでに何度かいただき、そのときの熱気や重要さを語る様子を身近に感じました。理念を語っている条例だからこそその重要さと、一方で難しさがあるということも改めて思います。この4コママンガも工夫されたと思います。どのようなマンガにするかという議論でも、具体的な課題や事柄に当てはめて語ったらどうかというご意見もありましたし、市民側としては具体的な中にこそ理念を感じられるものではないか、ということも思います。また、この自治基本条例のもとで市民参加、市民自治活動の条例ができて、市民協働課を中心に各課が行う日々の業務の中で市民として関わる広さもできたと思います。私が所属している団体は、公募提案型の最初の年度から何回か応募して採択もいただきました。市立の小学校で国際理解講座を2年させていただき、今後はNPO支援という枠での対象にはあたらないためどう提案できる可能性があるかを市民協働課と話をしました。そのときに「まずは企画提案してください。その際に、自治基本条例に述べられている協働の精神に則ってこれを提案します、というものを出示してください」と言われまして、なるほどと思いました。市民団体も条例の理念を理解して活用していくことがなければ、ただ理念のまま、伝わっていかないのだと感じました。</p> <p>あと二つ触れさせていただきたいのですが、他団体も含めその公募提案の内容を聞く中で、当時の市民協働課長が「どういう課題があるかという、提案のテーマ自体を行政と団体が一緒に考えられる場があるといい。それを創っていくのが今後の方向性ではないかと思う」というあいさつをされたのを覚えています。市民団体も多岐に渡っていて合意形成は容易ではないと思いますが、私達の側は、「行政から出されて知る」という以上には踏み込めませんので、そういう場が今後できるといいと思います。</p>

発 言 者	内 容
	<p>最後にもう一点ですが、私自身も自分の団体では事務局のサイドにいますので、この委員会での構図と重ね合わせて考えることもあります。私にも言えることですが、市の職員の方々は丁寧な議論の場を用意してくださっていると感じる一方、日常的に市民の意見を直接受ける立場としてもう少し濃淡のあると言いますか、実際に感じていらっしゃることを出していただいてもいいと思います。</p>
委 員	<p>私は自治推進委員会ができる以前に、自治基本条例の策定から携わっていました。日進のまちが少しでもよくなるようにと思い、みなさんと一緒にやってきました。なぜこの場に私がいるのかと考えたこともありましたが、市民のみなさんが幸せな生活を送るにはどうしたらいいかというのが基本にあると思い、ディスカッションしたりワークショップしたりして、ある程度意見が固まったところで、当時の市長に自治基本条例を提言しました。ちょうどその日が太平洋戦争の開戦日でしたので、先の不幸な大戦を思い、これが市民自治の第一歩だと思いました。それからも自分はボランティア的にいろいろやりましたが、無理してやりすぎてもいけない、ほどほどがいいと感じたりもします。こういうことを身の回りの人、妻に話しますと、「私、知らないわ」と返ってきます。職場で話しても「知らないね」と自分が孤立してしまいます。しかしもっと進めないで将来困るなど、少しでも条例の趣旨が市民に伝わればと、この場で意見を述べてきました。こういうものは一人ひとりが気持ちを持たないと忘れられてしまいますし、条例は知らないけど行動はしているという人もいます。私自身も先日の企画展を訪れ、何が自分にできるかと考えてみました。いつも自分に置き換えてみるのです。そして、これを作ってみました。(自治基本条例4コママンガを使った手作りの作品を披露) マンガが1個ずつよりも「こういうことがあるんだ」とわかりやすいと思い、まとめてみました。また、近所のごみ集積所に鉄かごが置いてあり、カラス防止に貼ってある網が破れていました。それを縫っている方がいらしたのを見て、これも自治だなと思い、ちょっと写真を撮らせてくださいと頼みました。(写真を披露) こういう小さなことが大事だと思い、10年間やってきました。</p> <p>先ほども話にありましたが、大きな問題についてはアンケートもいいですが、どういう結果かを市民に伝えることが大事だと思います。くりりんばす改編は良い結果になる人と悪い結果になる人が必ず出ます。私には良いことより悪いことの方が多く聞こえてきます。どうしてかという反省をもとに次のステップへ移ることが大切だと思います。さらに、日進市には日進ジャンクションはできましたがインターがありませんでした。今度、東郷PA辺りにスマートインターができますが、そのメリットをきちんと市民に伝えていただきたいですね。それから道の駅も、「どうやるんだろう」「どういうものができるのだろう」「何か問題が起きないだろうか」という声が私にも届いていますので、そのことも含めて取り組んでいただきたいと思います。将来のことを考えて、行政が市民と交流してディスカッションしていくといいと思います。</p>
委 員	<p>今回条例がマンガになったということで、私は文字がいっぱい並んでいると苦手に感じてしまいますので、広報紙を開いたときにぱっとマンガが目を見て、</p>

発 言 者	内 容
	<p>私もその1人ですが、読む人が増えたのではないかと思います。これにより少しでも自治基本条例が浸透するのではないかと思います。また、パンフレットの後ろに「あなたに合う市民参加の方法は？」というのがあり、私は委員を務めながら申し訳ないのですが、いろいろな話があっても頭の中ですぐに言葉が作れなくて意見できません。でもこれに当てはめていくと、委員会以外にも意見を届ける方法がいろいろあることがわかります。ぜひこれを広めていただいて、特に委員会に参加しなくても、いろんな形で参加できると知っていただくことで、例えば若いお母さんやお子さんの意見を吸い上げることもできるのではと思いました。</p>
委 員	<p>二つ申し上げたいと思います。一つは、議会への市民の参加についてということで、議長と副議長には伝えたとあります。いまの市議会の大会派の方々は残念ながら、市民に向いていません。市民全体への考え方が足りないと思います。秋の議会報告会でも市民から質問が出ましたが、その問題を議論する時間は予定されていないということです。予算も大会派が賛成しますから簡単に通ります。反対したことはありません。そういう意味では、日進市は二元代表制ではなく一元制になってしまっているといえます。これは問題だと思います。市長は立派な方で力量がありますが、完璧な人間はいないわけですから、「足りないことや何かいいアイデアがあれば教えてくれ」という姿勢を示すためにも市民オンブズマンを自身の責任で置いていただきたいのです。地方自治について意見を求めることも含めて、この委員会とは別にぜひ市民オンブズマンを設置していただきたいと思います。</p> <p>もう一つはと言いますと、道の駅が問題になっていますが、それもマニフェストありきで進んでいると聞いています。いま人口減の流れの中で、日進市はベッドタウンの機能に恵まれて人口を維持してきました。しかしいずれ減少するでしょうから、日進市で生まれ育ち、日進市で成人し、日進市に納税する、という体制にする必要があります。日進市の真ん中には天白川が流れています。この周辺は農業にしか使えません。それだけ農業に地の利があるというふうを受け止めて、農業で日進市が生きていく道はないかと考えます。道の駅の構想には農業振興が入っていますが、そんな小さな問題ではありません。農協はメガバンクよりも資金がありますから、国や県に頼らず日進市が農業で生きる道を、農協も含めて真剣に考えていただければどうかと思います。それが将来の世代への責任ではないかと。農業と言っても一次だけでなく、加工品等の二次的な生産物も含めてです。九州のある農村では焼酎作りが不成功し、いまでは海外からも観光客がどんどん来るということです。そして、その学校の卒業生は焼酎作り関係の仕事に就いている、という実例もあるわけです。大変で難しい問題と思いますが、日進市にテーマとして農業の発展を申し上げたいと思います。</p>
委 員	<p>今回、4コママンガの企画にも声をかけていただき、展示にも関わりました。その際に10年前に策定に携わった方の話も聞くことができました。実際に私の友人の奥さんも、子どもに「このマンガを読んで」と言われて寝かしつけに読ん</p>

発 言 者	内 容
	<p>であげた、という話を聞きました。やはり訴求力があるものだと思います。みなさん仰るように、マンガを作って終わりではなく、この後どうなるのかが大切だと思います。私自身もこの委員会に参加してみて、やはり少し敷居が高いなど思うこともあります。市民の方にとって大切なのは自分にメリットがあること、例えば電話一本で駅の汚い看板を数週間で塗り替えてくれたりすると、メリットに感じやすいと思いますが、なかなかそこまで至らない現状もあります。この場を借りてコミットと言いますか、一市民としてやらなきゃいけないと思っているのが、これから少子高齢化も進んで予算も削られますので、自分達の市は自分達でなんとかしなきゃいけないということです。市長や市役所に文句を言うだけでなく、自分達で何ができるのかを、私自身も改めて市民の自治という点で思った次第です。ちょうど自分も市民団体をやっていますので、そこで自分達ができることを広められたらと思います。</p>
委 員	<p>後任も同じ団体から出ますが、次は自治会長ですので先ほど申しました地域との関わりが直接あります。来期はやはり地域包括ケアシステム、高齢者の生活支援が大きな問題だと思います。団体として取り組んでいきたいと思っています。</p>
会 長	<p>委員になる機会があったというのもご縁ですので、今後も日進市の市民自治活動へご参加、ご協力いただきたいと思います。</p>
	4 その他
	5 閉会